

2025 年度 保育科卒業生調査および就職先調査

I. 目的

本調査分析は、「PROPERTIES」の取り組みの一環であり、カリキュラム見直しのための資料として、卒業生とその就職先に対し、PROPERTIES における評価項目の重要度と到達度に関するアンケート調査を 2018 年度より実施している。2025 年度は保育科を対象として実施した。

II. 対象と方法

1. 対 象 :〔卒業生〕 保育科 2025 年 3 月卒業生 121 名
〔就職先〕 保育科 2025 年 3 月卒業生の就職先 74 社
2. 実 施 方 法 :〔卒業生〕 Microsoft Forms に質問を入力し、本人のメールアドレスへ URL を配布
〔就職先〕 事前のメールでの問合わせで確認が取れた卒業生就職先にアンケートを郵送
3. 実 施 期 間 :〔卒業生〕 2025 年 12 月 22 日～2026 年 1 月 31 日
〔就職先〕 2025 年 12 月 22 日～2026 年 1 月 31 日
4. 分 析 方 法 : 解析には Excel を使用し、各検定における有意水準は 5%とした。なお、調査の〔就職先〕の質問項目において、重要度では「非常に重要」「ある程度重要」「あまり重要でない」「まったく重要でない」の 4 件法、到達度では「十分身につけている」「おおむね身につけている」「やや学びが足りない」「もっと学ぶ必要がある」「評価できない」の 5 件法であり、分析の際は、「評価できない」の回答を除外して t 検定を実施した。
(※Wilcoxon の順位和検定はせず、t 検定のみの実施となっている。)

III. 結果と考察

アンケート調査票の質問項目の回答数は以下のとおりであり、すべて有効回答であった。

回答数(回収率) :〔卒業生〕 29 件, (24.0%)
〔就職先〕 39 件, (52.7%)

1. 総合的人間力の重要度及び達成度の比較

総合的人間力の重要度および達成度の比較について、卒業生を図 1、表 1、就職先を図 2、表 2 に示した。

図1 総合的人間力（卒業生）

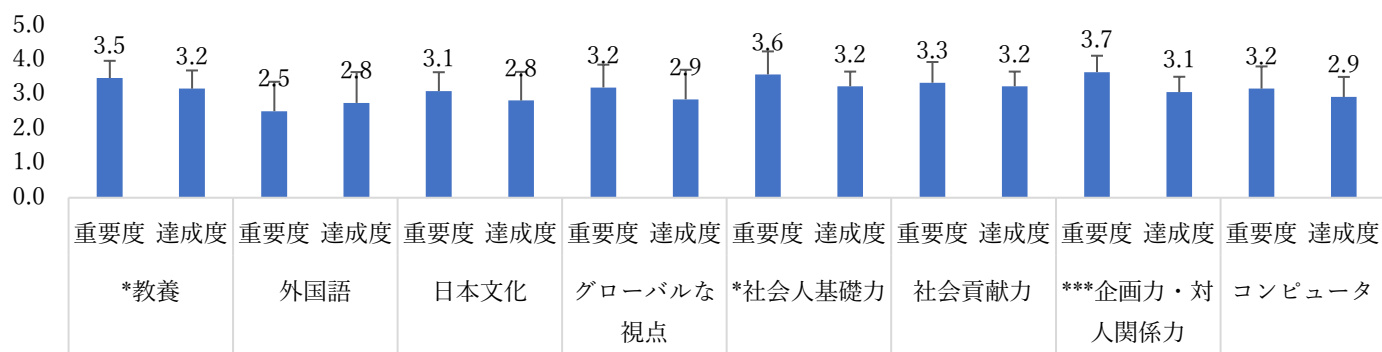


図2 総合的人間力（就職先）

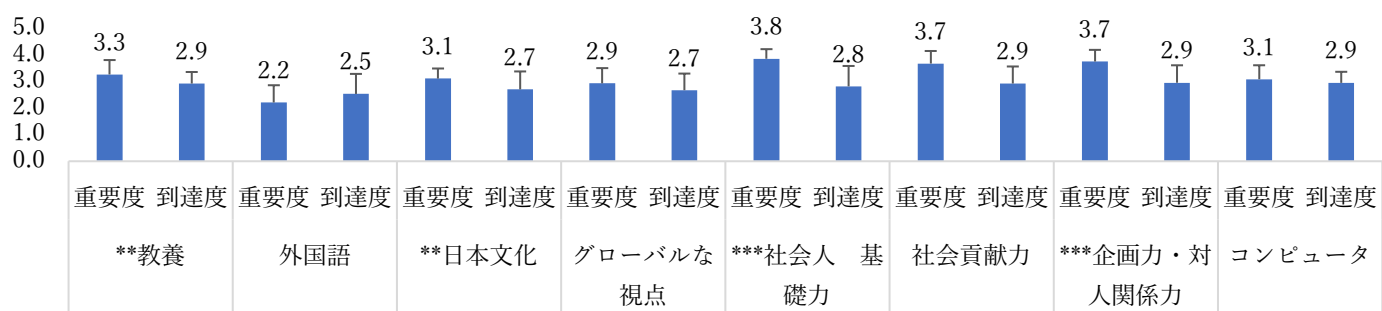


表1 総合的人間力の重要度及び達成度の比較(卒業生)

n=29					
重要度			達成度		p値
n	%		n	%	
教養（専門科目以外の学び）					
Mean±SD	3.5±0.50		3.2±0.53		0.03*
非常に重要	14	48.3	十分身についている	7	24.1
ある程度重要	15	51.7	おおむね身についている	20	69.0
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	2	6.9
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	0	0.0
			その内容を学んでいない	0	0.0
外国語					
Mean±SD	2.5±0.86		2.8±0.90		0.31
非常に重要	4	13.8	十分身についている	4	13.8
ある程度重要	10	34.5	おおむね身についている	18	62.1
あまり重要ではない	12	41.4	やや学びが足りない	4	13.8
まったく重要ではない	3	10.3	もっと学ぶ必要がある	2	6.9
			その内容を学んでいない	1	3.4
日本文化					
Mean±SD	3.1±0.55		2.8±0.83		0.15
非常に重要	6	20.7	十分身についている	4	13.8
ある程度重要	20	69.0	おおむね身についている	19	65.5
あまり重要ではない	3	10.3	やや学びが足りない	4	13.8
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	1	3.4
			その内容を学んでいない	1	3.4
グローバルな視点					
Mean±SD	3.2±0.66		2.9±0.86		0.10
非常に重要	10	34.5	十分身についている	4	13.8
ある程度重要	15	51.7	おおむね身についている	21	72.4
あまり重要ではない	4	13.8	やや学びが足りない	1	3.4
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	2	6.9
			その内容を学んでいない	1	3.4
社会人基礎力					
Mean±SD	3.6±0.67		3.2±0.43		0.03*
非常に重要	19	65.5	十分身についている	7	24.1
ある程度重要	9	31.0	おおむね身についている	22	75.9
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	0	0.0
まったく重要ではない	1	3.4	もっと学ぶ必要がある	0	0.0
			その内容を学んでいない	0	0.0
社会貢献力					
Mean±SD	3.3±0.60		3.2±0.43		0.46
非常に重要	12	41.4	十分身についている	7	24.1
ある程度重要	15	51.7	おおむね身についている	22	75.9
あまり重要ではない	2	6.9	やや学びが足りない	0	0.0
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	0	0.0
			その内容を学んでいない	0	0.0
企画力・対人関係					
Mean±SD	3.7±0.48		3.1±0.45		p<0.001***
非常に重要	19	65.5	十分身についている	4	13.8
ある程度重要	10	34.5	おおむね身についている	23	79.3
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	2	6.9
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	0	0.0
			その内容を学んでいない	0	0.0
コンピュータ					
Mean±SD	3.2±0.65		2.9±0.58		0.15
非常に重要	8	27.6	十分身についている	3	10.3
ある程度重要	19	65.5	おおむね身についている	22	75.9
あまり重要ではない	1	3.4	やや学びが足りない	3	10.3
まったく重要ではない	1	3.4	もっと学ぶ必要がある	1	3.4
			その内容を学んでいない	0	0.0

t検定 (*:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001)

表2 総合的人間力の重要度及び到達度の比較(就職先)

n=39						
重要度			到達度		p値	
	n	%		n	%	
教養(専門科目以外の学び)						
Mean±SD		3.3±0.54		2.7±0.88		0.004**
非常に重要	12	30.8	十分身についている	2	5.1	
ある程度重要	25	64.1	おおむね身についている	29	74.4	
あまり重要ではない	2	5.1	やや学びが足りない	5	12.8	
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	0	0.0	
			評価できない	3	7.7	
外国語						
Mean±SD		2.2±0.65		1.2±1.37		0.10
非常に重要	1	2.6	十分身についている	0	0.0	
ある程度重要	10	25.6	おおむね身についている	13	33.3	
あまり重要ではない	24	61.5	やや学びが足りない	3	7.7	
まったく重要ではない	4	10.3	もっと学ぶ必要がある	3	7.7	
			評価できない	20	51.3	
日本文化						
Mean±SD		3.1±0.38		2.3±1.15		0.004**
非常に重要	5	12.8	十分身についている	2	5.1	
ある程度重要	33	84.6	おおむね身についている	21	53.8	
あまり重要ではない	1	2.6	やや学びが足りない	8	20.5	
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	2	5.1	
			評価できない	6	15.4	
グローバルな視点						
Mean±SD		2.9±0.57		1.6±0.36		0.10
非常に重要	5	12.8	十分身についている	0	0.0	
ある程度重要	26	66.7	おおむね身についている	18	46.2	
あまり重要ではない	8	20.5	やや学びが足りない	4	10.3	
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	2	5.1	
			評価できない	15	38.5	
社会人基礎力						
Mean±SD		3.8±0.36		2.7±0.97		p<0.001***
非常に重要	33	84.6	十分身についている	5	12.8	
ある程度重要	6	15.4	おおむね身についている	23	59.0	
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	6	15.4	
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	3	7.7	
			評価できない	3	7.7	
社会貢献力						
Mean±SD		3.7±0.47		2.7±0.99		p<0.001***
非常に重要	26	66.7	十分身についている	3	7.7	
ある程度重要	13	33.3	おおむね身についている	30	76.9	
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	0	0.0	
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	3	7.7	
			評価できない	3	7.7	
企画力・対人関係						
Mean±SD		3.7±0.44		2.8±0.91		p<0.001***
非常に重要	29	74.4	十分身についている	5	12.8	
ある程度重要	10	25.6	おおむね身についている	27	69.2	
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	3	7.7	
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	2	5.1	
			評価できない	2	5.1	
コンピュータ						
Mean±SD		3.1±0.53		2.6±1.06		0.23
非常に重要	7	17.9	十分身についている	2	5.1	
ある程度重要	28	71.8	おおむね身についている	28	71.8	
あまり重要ではない	4	10.3	やや学びが足りない	4	10.3	
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	0	0.0	
			評価できない	5	12.8	

t検定 (*:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001)

総合的人間力〔卒業生〕:

卒業生においては、「教養」「社会人基礎力」で p<0.01,「企画力・対人関係」で p<0.001 であった。

総合的人間力〔就職先〕:

就職先においては、「教養」「日本文化」で p<0.01,「社会人基礎力」「社会貢献力」「企画力・対人関係」で p<0.001 であった。

「企画力・対人関係」が卒業生及び就職先ともに有意差があった。「企画力」では日々の実践内容を変化させるための新たな企画を生み出す力が必要であり、就業期間が浅い新卒の職員には、企画をする機会の積み重ねが重要と考えられた。また、「対人関係」では、中学・高校時代をコロナ渦で過ごした世代であり、長期間のリモート学習等により、成長期におけるコミュニケーションの機会の減少の基盤が、学生生活にも影響していることも推測される。「社会人基礎力」では、有意水準に違いは見られたものの、卒業生及び就職先ともに有意差があった。本学にお

ける社会人基礎力育成講座では、様々な分野の講師を招聘し、学生時代からの社会人としての基礎的な力を身に付けられるよう取り組んでいるものの、その内容の重要度が学生に十分理解されていない可能性もある。特にボランティア活動は人間力を高めることに重要な要素の一つと考えられるものの、ボランティアの実施が自身の人間力にどのように影響するのか、そのプロセスの説明にもさらに力を入れて、学生自身が人間力の向上について主体的に取り組める環境を整えることが重要と考えられた。また、就職するとその瞬間から社会人としての勤務が開始するが、同じ職場の他の社会人との経験年数の違いにより、新人の人間力は顕著に差が見えやすい。学生時代の学びを活かした年齢相応の人間力を出せるよう、日頃の学習から重要性の理解に重点を置く必要があると考えられた。

2. 専門的知識の重要度及び達成度の比較

総合的人間力の重要度および達成度の比較について、卒業生を図3、表3、就職先を図4、表4に示した。

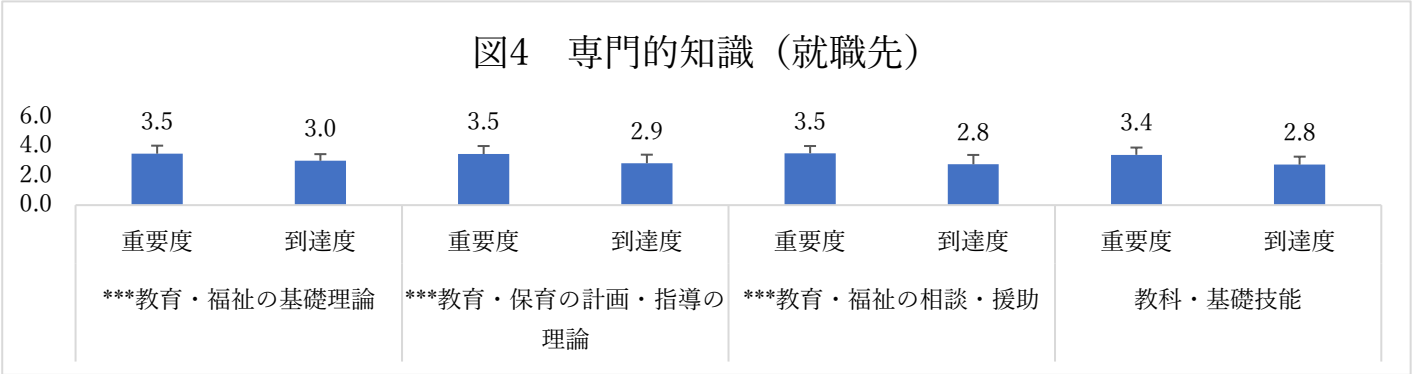
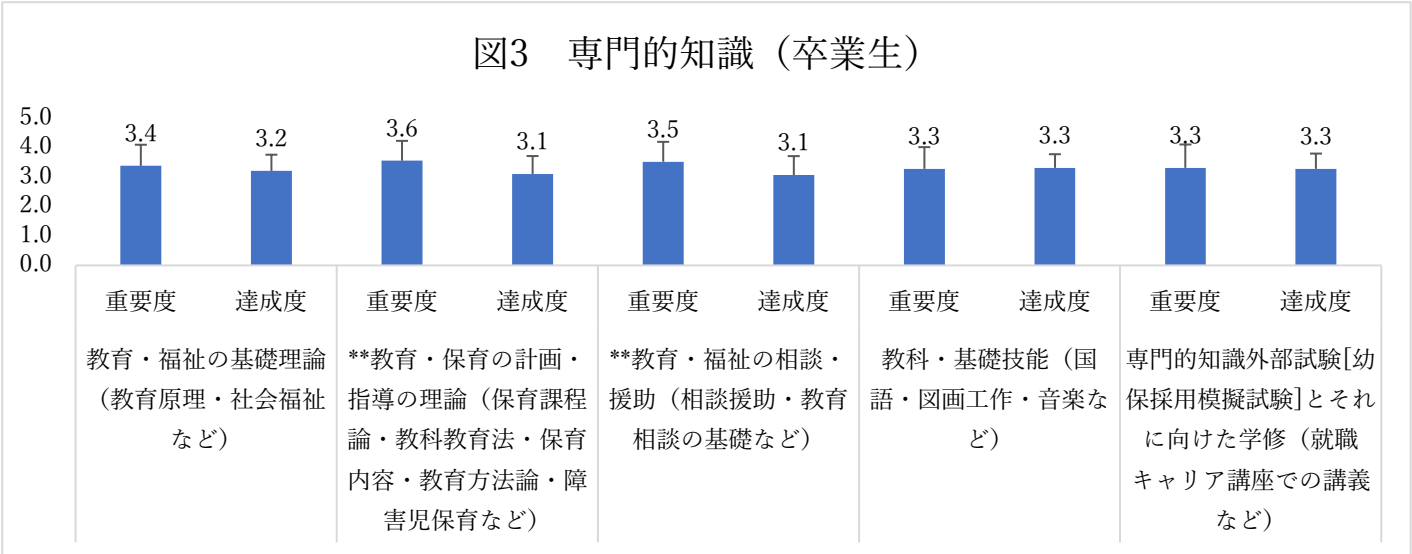


表3 専門的知識の重要度及び達成度の比較(卒業生)

n=29					
重要度			達成度		
n	%		n	%	p値
教育・福祉の基礎理論(教育原理・社会福祉など)					
Mean±SD	3.4±0.72		3.2±0.55		0.32
非常に重要	14	48.3	十分身についている	8	27.6
ある程度重要	13	44.8	おおむね身についている	19	65.5
あまり重要ではない	1	3.4	やや学びが足りない	2	6.9
まったく重要ではない	1	3.4	もっと学ぶ必要がある	0	0.0
			その内容を学んでいない	0	0.0
教育・保育の計画・指導の理論(保育課程論・教科教育法・保育内容・教育方法論・障害児保育など)					
Mean±SD	3.6±0.67		3.1±0.61		p<0.01**
非常に重要	18	62.1	十分身についている	6	20.7
ある程度重要	10	34.5	おおむね身についている	21	72.4
あまり重要ではない	1	3.4	やや学びが足りない	1	3.4
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	1	3.4
			その内容を学んでいない	0	0.0
教育・福祉の相談・援助(相談援助・教育相談の基礎など)					
Mean±SD	3.5±0.68		3.1±0.64		p<0.01**
非常に重要	17	58.6	十分身についている	6	20.7
ある程度重要	11	37.9	おおむね身についている	20	69.0
あまり重要ではない	1	3.4	やや学びが足りない	2	6.9
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	1	3.4
			その内容を学んでいない	0	0.0
教科・基礎技能(国語・図画工作・音楽など)					
Mean±SD	3.3±0.76		3.3±0.46		0.83
非常に重要	12	41.4	十分身についている	9	31.0
ある程度重要	14	48.3	おおむね身についている	20	69.0
あまり重要ではない	2	6.9	やや学びが足りない	0	0.0
まったく重要ではない	1	3.4	もっと学ぶ必要がある	0	0.0
			その内容を学んでいない	0	0.0
専門的知識外部試験(幼保採用模擬試験)とそれに向けた学修(就職キャリア講座での講義など)					
Mean±SD	3.3±0.79		3.3±0.52		0.85
非常に重要	13	44.8	十分身についている	9	31.0
ある程度重要	14	48.3	おおむね身についている	19	65.5
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	1	3.4
まったく重要ではない	2	6.9	もっと学ぶ必要がある	0	0.0
			その内容を学んでいない	0	0.0

t検定 (*:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001)

表4 専門的知識の重要度及び到達度の比較(就職先)

n=39					
重要度			到達度		
n	%		n	%	p値
教育・福祉の基礎理論					
Mean±SD	3.5±0.55		2.6±1.10		p<0.001***
非常に重要	21	53.8	十分身についている	3	7.7
ある程度重要	17	43.6	おおむね身についている	30	76.9
あまり重要ではない	1	2.6	やや学びが足りない	6	15.4
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	1	2.6
			評価できない	5	12.8
教育・保育の計画・指導の理論					
Mean±SD	3.5±0.55		2.6±0.95		p<0.001***
非常に重要	20	51.3	十分身についている	3	7.7
ある程度重要	18	46.2	おおむね身についている	26	66.7
あまり重要ではない	1	2.6	やや学びが足りない	6	15.4
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	1	2.6
			評価できない	3	7.7
教育・福祉の相談・援助					
Mean±SD	3.5±0.50		2.4±1.17		p<0.001***
非常に重要	21	53.8	十分身についている	3	7.7
ある程度重要	18	46.2	おおむね身についている	21	53.8
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	8	20.5
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	1	2.6
			評価できない	6	15.4
教科・基礎技能					
Mean±SD	3.4±0.50		2.4±1.06		p<0.001***
非常に重要	17	43.6	十分身についている	1	2.6
ある程度重要	22	56.4	おおむね身についている	25	64.1
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	7	17.9
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	1	2.6
			評価できない	5	12.8

t検定 (*:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001)

専門的知識〔卒業生〕:

卒業生においては、「教育・保育の計画・指導の理論」「教育・福祉の相談援助」で $p<0.01$, であった。

専門的知識〔就職先〕:

就職先においては、「教育・福祉の基礎理論」「教育・保育の計画・指導の理論」「教育・福祉の相談援助」「教科・基礎技能」のすべてで $p<0.001$ であった。

就職先ではすべての項目において有意差が見られた。教育や保育現場における相談援助は専門職の技術であり、知識を獲得したからといってすぐに実践力を高めて行えるものではない。そのため、学生時代には座学中心の理論学修を就職後は現場での実践と循環させる応用力を高めていかなければならない。実践と理論の循環は、学生時代に理論学習しても実践経験は実習以外では乏しいため、実践力に活かすことが卒後 1 年では難しいと推察される。

3. 専門的実践力の重要度及び達成度の比較

専門的実践力の重要度および達成度の比較について、卒業生を図 5、表 5、就職先を図 6、表 6 に示した。

図5 専門的実践力(卒業生)

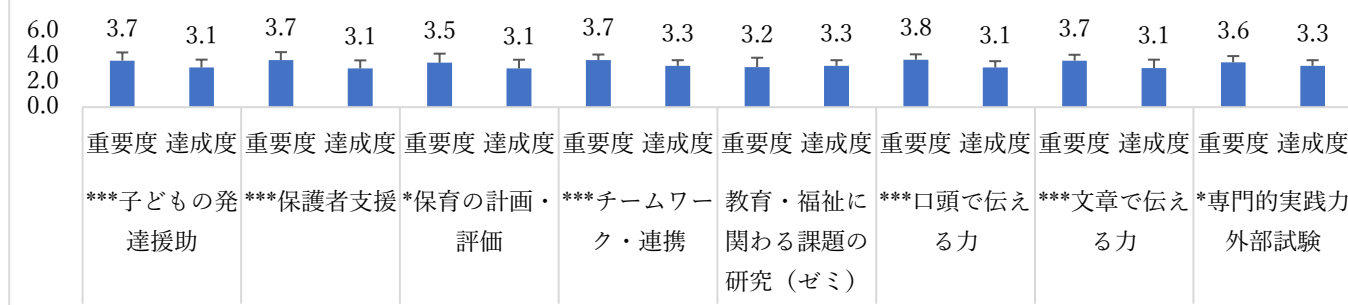


図6 専門的実践力（就職先）

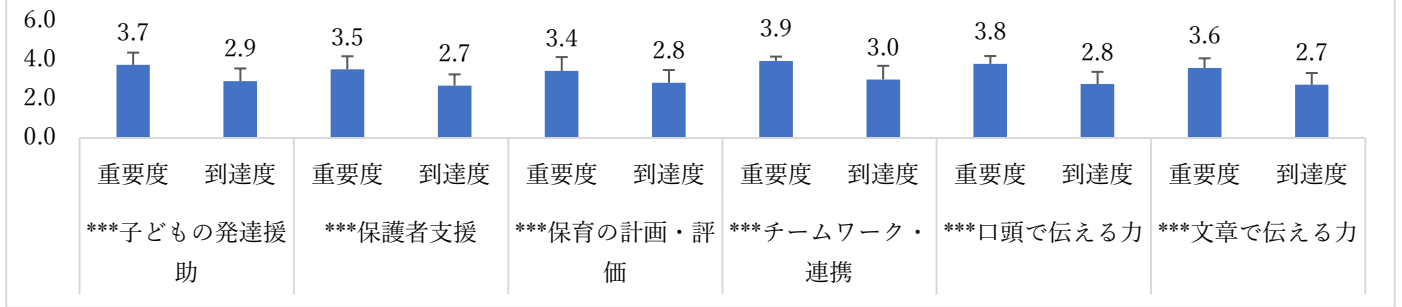


表5 専門的実践力の重要度及び達成度の比較(卒業生)

n=29					
重要度			達成度		
n			n		
%			%		
p値					
子どもの発達援助					
Mean±SD	3.7±0.65		3.1±0.63		p<0.001***
非常に重要	22	75.9	十分身についている	7	24.1
ある程度重要	6	20.7	おおむね身についている	20	69.0
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	1	3.4
まったく重要ではない	1	3.4	もっと学ぶ必要がある	1	3.4
			その内容を学んでいない	0	0.0
保護者支援					
Mean±SD	3.7±0.64		3.1±0.64		p<0.001***
非常に重要	23	79.3	十分身についている	6	20.7
ある程度重要	5	17.2	おおむね身についている	20	69.0
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	2	6.9
まったく重要ではない	1	3.4	もっと学ぶ必要がある	1	3.4
			その内容を学んでいない	0	0.0
保育の計画・評価					
Mean±SD	3.5±0.72		3.1±0.69		0.02*
非常に重要	18	62.1	十分身についている	7	24.1
ある程度重要	9	31.0	おおむね身についている	18	62.1
あまり重要ではない	1	3.4	やや学びが足りない	3	10.3
まったく重要ではない	1	3.4	もっと学ぶ必要がある	1	3.4
			その内容を学んでいない	0	0.0
チームワーク・連携					
Mean±SD	3.7±0.45		3.3±0.45		p<0.001***
非常に重要	21	72.4	十分身についている	8	27.6
ある程度重要	8	27.6	おおむね身についている	21	72.4
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	0	0.0
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	0	0.0
			その内容を学んでいない	0	0.0
口頭で伝える力					
Mean±SD	3.8±0.43		3.1±0.51		p<0.001***
非常に重要	22	75.9	十分身についている	6	20.7
ある程度重要	7	24.1	おおむね身についている	21	72.4
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	2	6.9
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	0	0.0
			その内容を学んでいない	0	0.0
文章で伝える力					
Mean±SD	3.7±0.46		3.1±0.66		p<0.001***
非常に重要	20	69.0	十分身についている	7	24.1
ある程度重要	9	31.0	おおむね身についている	19	65.5
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	2	6.9
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	1	3.4
			その内容を学んでいない	0	0.0
教育・福祉に関わる課題の研究(ゼミ)					
Mean±SD	3.2±0.75		3.3±0.45		0.53
非常に重要	10	34.5	十分身についている	8	27.6
ある程度重要	15	51.7	おおむね身についている	21	72.4
あまり重要ではない	3	10.3	やや学びが足りない	0	0.0
まったく重要ではない	1	3.4	もっと学ぶ必要がある	0	0.0
			その内容を学んでいない	0	0.0
専門的実践力外部試験とそれに向けた学修					
Mean±SD	3.6±0.50		3.3±0.45		0.03*
非常に重要	16	55.2	十分身についている	8	27.6
ある程度重要	13	44.8	おおむね身についている	21	72.4
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	0	0.0
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	0	0.0
			その内容を学んでいない	0	0.0

t検定 (*:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001)

表6 専門的実践力の重要度及び到達度の比較(就職先)

n=39						
重要度			到達度			p値
	n	%		n	%	
子どもの発達援助						
Mean±SD	3.7±0.63			2.6±1.08		p<0.001***
非常に重要	32	82.1	十分身についている	4	10.3	
ある程度重要	5	12.8	おおむね身についている	26	66.7	
あまり重要ではない	1	2.6	やや学びが足りない	3	7.7	
まったく重要ではない	1	2.6	もっと学ぶ必要がある	2	5.1	
			評価できない	4	10.3	
保護者支援						
Mean±SD	3.5±0.67			2.4±0.98		p<0.001***
非常に重要	23	59.0	十分身についている	1	2.6	
ある程度重要	14	35.9	おおむね身についている	23	59.0	
あまり重要ではない	1	2.6	やや学びが足りない	10	25.6	
まったく重要ではない	1	2.6	もっと学ぶ必要がある	1	2.6	
			評価できない	4	10.3	
保育の計画・評価						
Mean±SD	3.4±0.71			2.5±1.06		p<0.001***
非常に重要	21	53.8	十分身についている	3	7.7	
ある程度重要	15	38.5	おおむね身についている	25	64.1	
あまり重要ではない	2	5.1	やや学びが足りない	5	12.8	
まったく重要ではない	1	2.6	もっと学ぶ必要がある	2	5.1	
			評価できない	4	10.3	
チームワーク・連携						
Mean±SD	3.9±0.22			2.8±0.95		p<0.001***
非常に重要	37	94.9	十分身についている	7	17.9	
ある程度重要	2	5.1	おおむね身についている	25	64.1	
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	3	7.7	
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	2	5.1	
			評価できない	2	5.1	
口頭で伝える力						
Mean±SD	3.8±0.40			2.6±0.87		p<0.001***
非常に重要	31	79.5	十分身についている	2	5.1	
ある程度重要	8	20.5	おおむね身についている	26	66.7	
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	7	17.9	
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	2	5.1	
			評価できない	2	5.1	
文章で伝える力						
Mean±SD	3.6±0.49			2.6±0.84		p<0.001***
非常に重要	23	59.0	十分身についている	1	2.6	
ある程度重要	16	41.0	おおむね身についている	27	69.2	
あまり重要ではない	0	0.0	やや学びが足りない	7	17.9	
まったく重要ではない	0	0.0	もっと学ぶ必要がある	2	5.1	
			評価できない	2	5.1	

t検定 (*:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001)

専門的実践力〔卒業生〕：

卒業生においては、「保育の計画・評価」「専門的実践力外部試験」で $p<0.01$ ，「子どもの発達援助」「保護者支援」「チームワーク・連携」「口頭で伝える力」「文章で伝える力」で $p<0.001$ であった。

専門的実践力〔就職先〕：

就職先においては、「子どもの発達援助」「保護者支援」「保育の計画・評価」「チームワーク・連携」「口頭で伝える力」「文章で伝える力」のすべてで $p<0.001$ であった。

就職先ではすべての項目において有意差が見られた。教育・保育の現場では、即戦力として求められることが多いものの、実践現場で必要な「子どもの発達援助」「保護者支援」「保育の計画・評価」の専門的な力はより充実していることが重要である。一方で新卒1年目で就職先の期待に応えうる力を十分に発揮することは難しいと推測できる。卒業生自身も、「子どもの発達援助」「保護者支援」「保育の計画・評価」の達成度に有意差が見られることから、十分な実践力を持つためには、さらなる実践経験の積み重ねが重要であると考えられた。また、「チームワーク・連携」「口頭で伝える力」「文章で伝える力」は教育・保育の現場に限らず、どのような就職先でも必要となる力である。保育科としての科目に特化した内容ではなく、幅広く実践力を持つ人材の育成のためにも、あらゆる就職先で活躍できる人材を育てられるよう、基礎的な実践力の強化も含めて取り組んでいく必要があると考えられた。

4. 数理データサイエンスの重要度及び達成度の比較

数理データサイエンスの重要度および達成度の比較について、卒業生を表7、就職先を表8に示した。回答からは本プログラムの内容を用いていない卒業生就職先が多くあること（表8「評価できない」17）、履修しているがどの内容であるのかを理解していない回答があること（表7「その内容を学んでいない」2）が考えられた。そのため、本プログラムの学習効果の有無と実社会での活用をより詳しく調べる目的で、卒業生の「その内容を学んでいない」、就職先の「評価できない」の回答を除外して検定を行った。結果について、卒業生は表9、卒業生就職先は表10に示した。

表7 数理データサイエンスの重要度及び達成度の比較(卒業生)

n=29					
重要度			達成度		p値
n	%		n	%	
数理データサイエンス・AI学修					
Mean±SD		2.4±0.67	2.6±0.85		0.50
非常に重要	1	3.4	十分身についている	0	0.0
ある程度重要	13	44.8	おおむね身についている	22	75.9
あまり重要ではない	13	44.8	やや学びが足りない	4	13.8
まったく重要ではない	2	6.9	もっと学ぶ必要がある	1	3.4
			その内容を学んでいない	2	6.9
t検定 (*:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001)					

t検定 (*:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001)

表8 数理データサイエンスの重要度及び到達度の比較(就職先)

n=39						
重要度			到達度		p 値	
	n	%		n	%	
数理データサイエンス・AI学修						
Mean±SD						p<0.001***
非常に重要	5	12.8	十分身についている	0	0.0	
ある程度重要	18	46.2	おおむね身についている	14	35.9	
あまり重要ではない	14	35.9	やや学びが足りない	8	20.5	
まったく重要ではない	2	5.1	もっと学ぶ必要がある	0	0.0	
			評価できない	17	43.6	
t検定 (*:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001)						

t検定 (*:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001)

表9 数理データサイエンスの重要度及び達成度の比較(卒業生)

n=29					
重要度			達成度		p値
	n	%	n	%	
数理データサイエンス・AI学修					
Mean±SD	2.4±0.67		2.6±0.85		0.05
非常に重要	1	3.4	十分身についている	0	0.0
ある程度重要	13	44.8	おおむね身についている	22	75.9
あまり重要ではない	13	44.8	やや学びが足りない	4	13.8
まったく重要ではない	2	6.9	もっと学ぶ必要がある	1	3.4
			その内容を学んでいない	2	6.9
t検定 (*:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001)					

t検定 (*:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001)

表10 数理データサイエンスの重要度及び到達度の比較(就職先)

n=39					
重要度			到達度		p 値
n	%		n	%	
数理データサイエンス・AI学修					0.869
Mean±SD					
非常に重要	5	12.8	十分身についている	0	0.0
ある程度重要	18	46.2	おおむね身についている	14	35.9
あまり重要ではない	14	35.9	やや学びが足りない	8	20.5
まったく重要ではない	2	5.1	もっと学ぶ必要がある	0	0.0
			評価できない	17	43.6
t検定 (*:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001)					

t検定 (*:p<0.05, **:p<0.01, ***:p<0.001)

数理データサイエンス〔卒業生〕：

卒業生において両者ともに有意差は見られなかった。

数理データサイエンス〔就職先〕：

就職先においては「評価できない」を除外しないと $p<0.001$ であったが、除外すると有意差は見られなかった。卒業生は、学生時代に数理データサイエンスの学習において、毎回の課題を提出することでの達成度が影響していると推測される。一方で、就職先では「評価できない」が回答の43.6%を占めたことから判断は難しい。今年度初めての調査結果であることから、来年度以降の結果と比較して検討していく必要があると考えられた。

山梨学院短期大学 保育科

卒業生の皆さまへの調査

卒業からまもなく1年がたちますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

このたび、本学では、教育活動を自己点検し、今後の取組に生かしていく目的で、卒業生の皆様に学修成果についてご意見を伺う調査を実施しています。お忙しいところ、大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、以下の各項目にご回答いただきますようご協力お願い申し上げます。

なお、いただきました回答内容は、本学の教育改善のための資料としてのみ活用させていただきます。

ご回答は、Microsoft Forms にて **2026 (令和8) 年1月31日まで**にご返信くださいますようお願いいたします。

1. ご回答いただいた方について伺います。

(1) 氏名	(旧姓：)
(2) 現在の仕事	A. 専門職（幼稚園教諭免許や保育士資格を生かした職） B. 一般職 C. その他（詳細を(4)に記載）
(3) (2)で A.の場合は、実際に雇用契約を結んでいる先 (該当するカッコに○)	① () 幼稚園 ② () 保育所 ③ () 幼保連携型認定こども園 ④ () 幼稚園型認定こども園 ⑤ () 保育所型認定こども園 ⑥ () 乳児院 ⑦ () 児童養護施設 ⑧ () 障害児・者福祉施設 ⑨ () その他教育・福祉施設 ⑩ その他 []
(4) 転職経験がある場合は前職も含めて記述	(例) 幼稚園(3ヶ月) ⇒ 主婦(現在)、保育所(7ヶ月) ⇒ 一般事務職(現在)

2. 本学で学んだ内容の「重要度」「到達度」について伺います。

現在の立場・状況に照らして、その「重要度」「到達度」について、あてはまる数字を記入してください。

学修内容 (カッコ内は該当する科目等)			現在のあなたにとっての 「重要度」 (職業上あるいは社会人として)				本学での学修についての 「到達度」				
総合的 人間力	101	教養	4	3	2	1	4	3	2	1	0
	102	外国語	4	3	2	1	4	3	2	1	0
	103	日本文化	4	3	2	1	4	3	2	1	0
	104	グローバルな視点	4	3	2	1	4	3	2	1	0
	105	社会人基礎力	4	3	2	1	4	3	2	1	0
	106	社会貢献力	4	3	2	1	4	3	2	1	0
	107	企画力・対人関係力	4	3	2	1	4	3	2	1	0
	108	コンピュータ	4	3	2	1	4	3	2	1	0

			4：非常に重要 3：ある程度重要 2：あまり重要ではない 1：まったく重要ではない	4：在学中に十分に学ぶことができた 3：在学中におおむね学ぶことができた 2：やや学びが足りなかった 1：もっとしっかり学びたかった 0：その内容を学んでいない
学修内容 (カッコ内は該当する科目等)			現在のあなたにとっての 「重要度」 (職業上あるいは社会人として)	本学での学修についての 「到達度」
専門的知識	201	教育・福祉の基礎理論 (教育原理、社会福祉など)	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	202	教育・保育の計画・指導の理論 (保育課程論、教科教育法、保育内容、教育方法論、障害児保育など)	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	203	教育・福祉の相談・援助 (相談援助・教育相談の基礎など)	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	204	教科・基礎技能 (国語・図画工作・音楽など)	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	205	専門的知識外部試験〔幼保採用模擬試験〕とそれに向けた学修 (就職キャリア講座での講義など)	4 3 2 1	4 3 2 1 0
専門的実践力	301	子どもの発達援助	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	302	保護者支援	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	303	保育の計画・評価	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	304	チームワーク・連携	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	305	教育・福祉に関わる課題の研究 (ゼミ)	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	306	口頭で伝える力	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	307	文章で伝える力	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	308	専門的実践力外部試験とそれに向けた学修	4 3 2 1	4 3 2 1 0

3. 「数理・データサイエンス・AI 学習プログラム」について伺います。

在学中に情報処理演習、卒業演習Ⅰや社会人基礎力育成講座Ⅰなどの授業で学習した「数理・データサイエンス・AI」に関する内容について、現在の立場・状況に照らしてその「重要度」「到達度」について、あてはまる数字を選択してください。

	4：非常に重要 3：ある程度重要 2：あまり重要ではない 1：まったく重要ではない	4：在学中に十分に学ぶことができた 3：在学中におおむね学ぶことができた 2：やや学びが足りなかった 1：もっとしっかり学びたかった 0：その内容を学んでいない
学修内容 (カッコ内は該当する科目等)	現在のあなたにとっての 「重要度」 (職業上あるいは社会人として)	本学での学修についての 「到達度」
数理・データサイエンス・AI 学習	4 3 2 1	4 3 2 1 0

「重要度」について、現状を詳しくお聞かせください（自由記述）

（例：統計データをみて次の行動をすることが出来ている、エクセルで集計してグラフ化できるのだが、職場では実施していない、など）

「到達度」について、現状を詳しくお聞かせください（自由記述）

（例：グラフが正しく読み取れるようになった、など）

4. 「学び直しニーズ」について伺います。

もし現在のあなたが、空いている時間などに本学に通い学び直す機会を得られるとしたら、何を学びたいですか。科目や学修の内容についてご自由にお書きください。

(例) 今の仕事でパソコンをよく使うので、パソコンスキルを学び直したい。

※本学の教育についてのご意見をお聞かせください。

【回答用 Microsoft Forms】

<https://forms.office.com/r/cQu7rbmeLQ>



<お問い合わせ>山梨学院短期大学 事務局 TEL 055-224-1400 (代表)

山梨学院短期大学 保育科 卒業生にかかわる調査

平素より、本学の教育活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

このたび本学では、教育活動を自己点検し、今後の取組に生かしていく目的で、本学卒業生をご採用いただいている施設・企業等の皆様にご意見を伺うアンケート調査を実施しております。お忙しいところ、大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、以下の各項目にご回答いただきますようご協力お願い申し上げます。

なお、ご回答内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。また、貴園・貴施設名の公表は一切行いません。

山梨学院短期大学 自己点検・評価委員会 就職・キャリア支援委員会

＜ご回答にあたって＞

- ・複数の卒業生をご採用いただいている場合は、複数名を総合的に判断してお答えください。
- ・採用後、派遣をされている等の場合は、わかる範囲内でお答えください。

1. 本アンケート回答者の職位について回答してください（例：人事部長、施設長、主任）

[]

2. 貴園・貴施設の種類について、該当するものに○をお付けください

- ① () 幼稚園 ② () 保育所 ③ () 幼保連携型認定こども園
④ () 幼稚園型認定こども園 ⑤ () 保育所型認定こども園 ⑥ () 乳児院
⑦ () 児童養護施設 ⑧ () 障害児・者福祉施設 ⑨ () その他教育・福祉施設
⑩ その他 []

3. 採用・離職状況（本学保育科卒業生の採用人数、現在の状況をお教えてください）

2024（令和6）年度	新卒（ ）人採用 既卒（ ）人採用	うち現在も継続勤務（ ）人 現在は退職（ ）人
2023（令和5）年度	新卒（ ）人採用 既卒（ ）人採用	うち現在も継続勤務（ ）人 現在は退職（ ）人
2022（令和4）年度	新卒（ ）人採用 既卒（ ）人採用	うち現在も継続勤務（ ）人 現在は退職（ ）人

4. 本学の卒業生についてうかがいます

（1）以下の①～④の各項目について、それぞれA～Dであてはまるものに○をおつけください。

A. とてもそう思う B. まあまあそう思う C. あまりそう思わない D. まったくそう思わない

①自らの専門職に対する社会的な使命感を持って、仕事に意欲的に従事している。	A	B	C	D
②仕事に対する向上心や探求心を持っている。	A	B	C	D
③周りの人たちと協調しながら仕事を進めるよう努力している。	A	B	C	D
④仕事をする上で必要な理論や技能を修得している。	A	B	C	D

（2）本学卒業生の「強み」について、ご意見をお聞かせください。

（3）本学卒業生の「課題」について、ご意見をお聞かせください。

5. 本学での学びについてうかがいます

以下の項目は、本学保育科で学ぶ内容です。それぞれについて、貴園・貴施設で働くにあたっての「重要度」をお教えてください。また、それぞれの内容を本学卒業生はどの程度身につけていると思われるか、卒業生の「到達度」をお教えてください。

			4：非常に重要 3：ある程度重要 2：あまり重要ではない 1：まったく重要ではない	4：十分に身につけている 3：おおむね身につけている 2：やや学びが足りない 1：もっと学ぶ必要がある 0：評価できない
学修内容			貴園・貴施設における 「重要度」	卒業生の「到達度」
総合的人間力	101	教養（専門科目以外の学び）	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	102	外国語	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	103	日本文化	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	104	グローバルな視点	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	105	社会人基礎力	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	106	社会貢献力	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	107	企画力・対人関係力	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	108	コンピュータ	4 3 2 1	4 3 2 1 0
専門的知識	201	教育・福祉の基礎理論	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	202	教育・保育の計画・指導の理論	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	203	教育・福祉の相談・援助	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	204	教科・基礎技能	4 3 2 1	4 3 2 1 0
専門的実践力	301	子どもの発達援助	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	302	保護者支援	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	303	保育の計画・評価	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	304	チームワーク・連携	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	306	口頭で伝える力	4 3 2 1	4 3 2 1 0
	307	文章で伝える力	4 3 2 1	4 3 2 1 0

6. 本学の卒業生は在学中、数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な知識やスキルを修得し、種々の情報の分析、評価、整理、活用ができる人材の育成を目的とした授業プログラムを履修しています。

<https://www.ygjc.ac.jp/about/dailies/>

「数理・データサイエンス・AI」に関する内容について、貴園・貴施設で働くにあたっての「重要度」をお教えてください。また、それぞれの内容を本学卒業生はどの程度身につけていると思われるか、卒業生の「到達度」をお教えてください。

	4：非常に重要 3：ある程度重要 2：あまり重要ではない 1：まったく重要ではない	4：十分に身につけている 3：おおむね身につけている 2：やや学びが足りない 1：もっと学ぶ必要がある 0：評価できない
学修内容	貴園・貴施設における 「重要度」	卒業生の「到達度」
数理・データサイエンス・AI 学習	4 3 2 1	4 3 2 1 0

貴園・貴施設における「重要度」について、現状を詳しくお聞かせください(自由記述)
(例:プログラミングが出来ることが業務上必要、パソコンを使った作業が少ない、など)

卒業生の「到達度」について、現状を詳しくお聞かせください(自由記述)
(例:グラフを正しく読み取っている、エクセルを使いこなせていない、など)

7. 社会人として必要なこと、学生時代に身につけておいてほしいことをお教えてください。

8. 卒業生についての要望、お気づきになったこと、本学に期待することなど、ご自由にお書きください。

9. 就職時に卒業生から就職先へお渡ししている「学修成果証明書」についてお伺いします。

(1)「学修成果証明書」は学生が卒業時に身につけた力(学修成果)を知るための参考になりましたか。
あてはまるものに○をおつけください。

4：非常に参考になった 3：おおむね参考になった 2：参考になった 1：あまり参考にならなかった

(2)「学修成果証明書」について、ご意見をお聞かせください。

最後に、貴園・貴施設名、ご連絡先をお書きください。

[貴園・貴施設名：

電話番号：

]

ご回答は、下記にあります回答用の Microsoft Forms にて 2026（令和8）年1月31日までに回答願います。本用紙にてご回答された場合は、FAX（055-224-1396）にて、2026（令和8）年1月30日までにご返信くださいますよう、お願い申し上げます。ご協力ありがとうございました。

【回答用 Microsoft Forms】

<https://forms.office.com/r/A5gVXPwMpy>



<お問い合わせ>山梨学院短期大学 事務局 TEL 055-224-1400（代表）